

家庭教育部会

1. 目 標

15歳で旅立つ子どもたちへ「生きる力（様々な力）」を身につけさせる為、家庭でやるべき事の周知を行い、家庭（保護者）の意識改革を図るとともに環境作りを整える。

2. 基本方針

- (1) 自ら「生きる力（様々な力）」を身につける
幼児・児童・生徒の育成を目指して家庭の教育力の向上を図る。 (知)
- (2) 心豊かな幼児・児童・生徒の育成を目指して
基本的な生活習慣の形成を図る。 (徳)
- (3) 健康で粘り強くたくましい幼児・児童・生徒の
育成を目指して食育活動の充実を図る。 (体)

3. 令和6年度取組の重点事項【自己肯定感を高める取組み】

(1) 学習を支える力を育成する。

- ①規則正しい生活リズムを確立する。(生活リズムの確立)
- ②家庭学習を習慣化させ、授業と連動した宿題や自主学習を推進する。(家庭学習の充実)
- ③読書をする習慣化を身に付け、豊かな心を育む。(読書活動の充実)

(2) 子育て支援等の取組み

- ① 歯垢、歯石「0」への取組みを行う
- ②「子育て支援」等についての連続講座、教育講演会の実施
- ③子どもが作る「弁当の日」を通した食育の推進

(3) その他（地域教育・行政部会等と連携）

- ①アフガニスタンにランドセルを贈る取組み（両小6年生）
※今年度は、村内でほしい児童がいないかを確認し、残りを贈る予定
また、中学生の制服のリサイクルをはじめます（先ずは1年間）

4. 令和6年度活動報告

月	令和6年度活動内容	活動実施方法
4月	新任教職員歓迎会 P 連主催	19日 改善センターホール 約120名参加
5月	第1回企画委員会	7日 改善センター中会議室
6月	防災無線 開始	「しっかり歯磨きを心掛け」の文言を追加
	池田卓氏 地域・教育講演会	6日 昼：学校 夜：改善センターホール地域住民・約130名
7月	弁当の日（1学期）	1日 3学校（小学校5・6年生・中学生）
10月	村P主催 スナッグゴルフ大会	4日 伊江中P担当：屋内ドームj
	弁当の日（2学期）	28日 3学校（小学校5・6年生・中学生）
11月	第2回企画委員会	19日 改善センター中会議室
2月	弁当の日（3学期）	3日 3学校（小学校5・6年生・中学生）
3月	第3回企画委員会	12日 改善センター中会議室
	6年生ランドセル募集	18日回収予定

5. 成果と課題

【成 果】

- ①年に3回の「弁当の日」はテーマを設定し、家庭では弁当作りで親子のコミュニケーションが取れ、学校においても生徒同士、生徒と教員が食材や調理法について話す機会となり、食育の充実が図られています。
- ②西表島舟浮出身のシンガーソングライターの池田卓さんを招いて地域・教育講演会を行った。「不便が残してくれたもの」と題してお話ししていただき、“ないものねだりよりも、今あるものに感謝して、それをどう使っていくかが大切”というメッセージがありました。
- ③防災無線の呼びかけで、「しっかり歯磨きを心掛け」を新たにいれ、呼びかけ啓発を図りました。学校での取り組み強化もあり、少しずつだが未処理歯保有者と歯垢付着者が減ってきました。

【課 題】

- ①弁当の日の取り組みをはじめて11年になり定着してはいるが、やや形骸化しており目的である15歳で親元を離れる子どもたちの自主自立に向けた取り組みへの理解解が薄れてきていることから、次年度、弁当の日提唱者である竹下和男氏を招聘し取り組みの原点の再確認を図ります。
- ②家庭学習に課題があり、学校と連携し、家庭での学習や読書の時間を確保し、子どもを励ましながら学びに向かう時間を作ってほしい。
- ③情報リテラシーと情報モラルの向上が必要となっております。
学校はスマホの持ち込みが禁止であることから、スマホの問題は基本的にまず家庭での責任となります。家庭できる取り組みの事例などを積極的に情報収集し、実行に移していきます。

6. 方向性

学力向上の基本、教育の原点は家庭にあります。子どもたちは家族・地域との関わりや体験から多くのことを学び成長していきます。

15歳で島を旅立つ子どもたちのために、保護者が果たす役割を認識し「自立できる子」を育て、子どもと共に成長していけるよう、地域の大人が一体となり、村ぐるみで家庭教育の向上に努めます。

また、長年続けている弁当の日の取り組みが形骸化しつつあることから、目的の原点の再確認を図ります。併せて家庭でのSNS等の情報モラルの徹底や、まだ歯磨きが不十分であること、視力の低下が大きいことから家庭への周知が必要となっています。